

当院では以下の研究を実施しております

この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録を使用して行う後方視的研究です。このような研究は、国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる患者さま全員から直接同意を得る代わりに、研究の目的・方法などの概要を公開し、研究への利用を希望されない場合にはその意思を申し出ていただくことが必要とされています。

研究結果は学会や論文等で発表されることがありますが、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

研究課題名

訪問リハ利用者の在宅生活に関連する因子の検討 ～急性期 MMSE 改善度と回復期 FIM 効率による予後予測の可能性～

1. 研究の対象

2025年1月1日～12月31日に当院の訪問リハビリテーションを終了した方のうち、当院急性期・回復期病棟を利用された方を対象とします。

2. 研究目的・方法

目的

訪問リハビリテーションの終了理由は、在宅生活が今後も継続可能かを示す重要な指標の一つです。本研究では、入院当初の認知機能（MMSE）の改善度や回復期でのリハビリ効率（FIM 効率）が、退院後の訪問リハの経過にどのように関連するかを解析し、早期からの適切な支援計画策定に役立てることを目的とします。

方法

診療録（カルテ）に記載された情報を後方視的に収集し、統計解析を行います。

新たな治療・追加介入は一切行いません。

研究期間は2027年2月28日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている以下の情報を使用します。

急性期：入院日数、Barthel Index（BI）改善度、MMSE 改善度

回復期：在院日数、FIM 改善度（FIM 効率）、MMSE 改善度

訪問リハ：終了理由（計画的終了または中断）

これらの情報はすべて匿名化したうえで解析します。
氏名・患者 ID など、個人を特定できる情報は使用しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問や、ご自身の診療情報を本研究に利用してほしくない場合には、下記までお申し出ください。お申し出があった場合でも、患者さまに不利益が生じることは一切ありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書や関連資料をご覧いただくことも可能です。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

〒140-8522 東京都品川区東大井 6-3-22

東京品川病院

電話番号：03-3764-0511（病院代表）

研究責任者：リハビリテーション科 鈴木 達也（理学療法士）

（作成日：2026年1月31日）